

事務事業名		田沼シルバーワークプラザ等指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5232	一般	3	1	3	田沼シルバーワークプラザ等指定管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成5年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市シルバーワークプラザ条例、同施行規則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
	事業区分						実施方法		指定管理者		
	事業区分						事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
健康で働く能力や意欲のある高齢者の就業、研修、会議等の便宜を供与することにより、高齢者の能力活用及び社会参加を促進するため、シルバーワークプラザを設置した。シルバー人材センターを指定管理者としている。			田沼シルバーワークプラザの指定管理者の指導管理及び施設の維持管理に係る対応を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			利用者数	人	563	394	500			
			利用回数	回	91	52	70			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
おおむね60歳以上の高齢者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			60歳以上高齢者数	人	41,687	42,554	43,421			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
地域の活動に参加してもらえる高齢者、介護をいつまでも必要としない高齢者を増やしていく。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一次予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300	67,300	68,300	
			老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000	145,000	146,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	705	725	1,212					
	事業費計(A)	千円	705	725	1,212	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			火災保険料	5	火災保険料	5	修繕料	100		
			指定管理料	700	指定管理料	720	火災保険料	5		
						指定管理料	1,107			
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	20	20	20						
人件費計(B)	千円	78	79	79	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	783	804	1,291	0	0				

事務事業名	田沼シルバーワークプラザ等指定管理事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	---------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年に、高齢者の生きがいがづくりの一環として田沼シルバーワークプラザが設立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口、高齢化率ともに年々増加している状況の中、高齢者の生きがいがづくりのため本事業の重要性は増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 シルバーワークプラザはシルバー人材センターを中心とした高齢者の就業機会の拠点であり、就労を通じた生きがいがづくりという面で、社会参加を促し、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 高齢者に就業や研修の場を提供することは、高齢者が増加する状況から見て、生きがいがづくりという観点から妥当である。指定管理者による運営が行われている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 定年を迎えた年代に、生きがいの場を提供することは対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 施設の利用は、毎年増えており、成果は充分に出ている。指定管理者による高齢者が活動する場の提供であり、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 大橋シルバーワークプラザ等指定管理事業 別々の場所に設置されており、利用者はそれぞれの地域の住民であることや、それぞれ独自に事業展開を図っているため統合は難しい。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は施設の維持管理料のため、削減は困難である。また、人件費についても必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 現在は、元気な高齢者の研修や作業の場であり、シルバー人材センター関連の利用が大部分のため、シルバー人材センターの育成という面があり受益者負担の設定は困難である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本施設は、利用頻度が高く、高齢者の生きがいがづくり事業という面もあり、廃止・休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			